小田原市報
第98号
発行所
小田原市役所
小田原市幸町の138
編集兼発行人
進資松
定価 一部三円
交進堂印刷所

# 市税賦課徴収条例の一部改正など決まる

## 公営住宅は板橋・谷津地区に建設

### ―五月市議会臨時会―

市議会臨時会は、去る五月二日から、市議会議場で開かれ、いよいよ、この日、市税賦課徴収条例の一部改正など、十件の議案が提出されました。

まず、この日、市税賦課徴収条例の一部改正、国民健康保険条例の一部改正、国民年金条例の一部改正、公営住宅の建設について、市税賦課徴収条例の一部改正は、市長から、市税賦課徴収条例の一部を改正する条例が、次の理由で提出されました。

◇昭和三十三年度市税の賦課徴収について、公営住宅の設置について、国民年金条例の一部改正について、国民健康保険条例の一部改正について、市税賦課徴収条例の一部改正

第98号　（毎月1回25日発行）　小田原市報　昭和33年5月25日（日曜日）　昭和29年10月15日第3種郵便物認可　（二）

# 財政事情の公表

## 32年度下半期分

## 明るい財政の見通し

### 計画外単年度黒字は昨年度以上の見込み

本市の財政状況につきましては、「広報」に引続き毎年公表し、皆様に知っておいて戴くことが、市政に対する理解と協力を得る上に最も大切なことであると信じております。

市財政の概要を知ればいかがでしょうか。本市は昭和31年度に引続き、昭和32年度も、「計画外単年度黒字」を出しました。

昭和32年度の「計画外単年度黒字」とは、「一般会計」の収入と支出の差引残高から、「繰越金」を差引いた残高のことです。

「計画外単年度黒字」は、「財政の健全化」を示すものであり、「財政の弾力性」を示すものであります。

昭和32年度の「計画外単年度黒字」は、昭和31年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和31年度の「計画外単年度黒字」は、昭和30年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和30年度の「計画外単年度黒字」は、昭和29年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和29年度の「計画外単年度黒字」は、昭和28年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和28年度の「計画外単年度黒字」は、昭和27年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和27年度の「計画外単年度黒字」は、昭和26年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和26年度の「計画外単年度黒字」は、昭和25年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和25年度の「計画外単年度黒字」は、昭和24年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和24年度の「計画外単年度黒字」は、昭和23年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和23年度の「計画外単年度黒字」は、昭和22年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和22年度の「計画外単年度黒字」は、昭和21年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和21年度の「計画外単年度黒字」は、昭和20年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和20年度の「計画外単年度黒字」は、昭和19年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和19年度の「計画外単年度黒字」は、昭和18年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和18年度の「計画外単年度黒字」は、昭和17年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和17年度の「計画外単年度黒字」は、昭和16年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和16年度の「計画外単年度黒字」は、昭和15年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和15年度の「計画外単年度黒字」は、昭和14年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和14年度の「計画外単年度黒字」は、昭和13年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和13年度の「計画外単年度黒字」は、昭和12年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和12年度の「計画外単年度黒字」は、昭和11年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和11年度の「計画外単年度黒字」は、昭和10年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和10年度の「計画外単年度黒字」は、昭和9年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和9年度の「計画外単年度黒字」は、昭和8年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和8年度の「計画外単年度黒字」は、昭和7年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和7年度の「計画外単年度黒字」は、昭和6年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和6年度の「計画外単年度黒字」は、昭和5年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和5年度の「計画外単年度黒字」は、昭和4年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和4年度の「計画外単年度黒字」は、昭和3年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

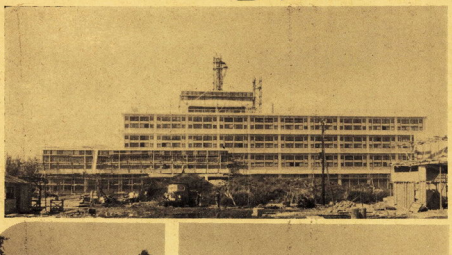
昭和3年度の「計画外単年度黒字」は、昭和2年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和2年度の「計画外単年度黒字」は、昭和1年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

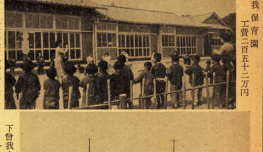
昭和1年度の「計画外単年度黒字」は、昭和0年度の「計画外単年度黒字」に比べ、約1億円増加しました。

昭和0

# 写真特集　建設のあゆみ（昭和32年度下半期）

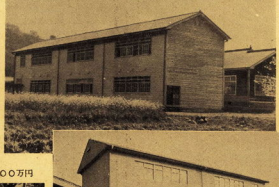


完成近い市立病院



↑第一工区（六号街路一般道路）工費1億1千1百万円

↑完成した威張山林道（継続事業）総工費1200万円



下曽我小学校校舎　工費一百五百万円

↑曽我保育園　工費二百五十二万円

城内小学校図書館　工費7万円

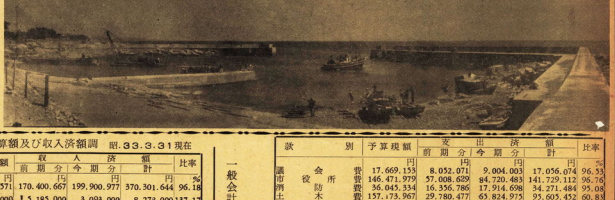
↑山王小学校校舎　工費365万7千円

↑飯泉国府津線　工費五百九十四万六千円

右上　高田農道　工費四百五十万円

左上　久野線（継続）工費一百三十九万五千七十円

上曽我かんがい用水路　工費100万円



建設中の小田原漁港

## 一般会計款別歳入予算額及び収入済額調　昭.33.3.31現在

| 款別 | 予算現額 | 収入済額 前期分 | 収入済額 今期分 | 収入済額 計 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | % |
| 市税 | 385.005.571 | 170.400.667 | 199.900.977 | 370.301.644 | 96.18 |
| 地方交付税 | 6.035.000 | 5.185.000 | 3.093.000 | 8.278.000 | 137.17 |
| 公営企業及び財産収入 | 151.754.144 | 40.334.741 | 70.534.547 | 110.869.288 | 73.06 |
| 使用料及び手数料 | 32.600.154 | 15.491.326 | 15.328.345 | 30.819.671 | 94.54 |
| 繰入金 | 87.182.955 | 33.800.886 | 35.823.198 | 69.624.084 | 79.86 |
| 県支出金 | 55.193.219 | 1.879.881 | 22.990.360 | 24.870.241 | 45.06 |
| 寄附金 | 18.091.730 | 4.596.000 | 11.796.192 | 16.392.192 | 90.61 |
| 雑収入 | 32.586.498 | 6.529.813 | 22.625.943 | 29.155.756 | 89.47 |
| 市債 | 27.300.000 | — | 2.800.000 | 2.800.000 | 10.26 |
| 歳入合計 | 795.749.271 | 278.218.314 | 384.892.562 | 663.110.876 | 83.33 |

## 一般会計款別歳出予算額及び支出済額調　昭.三三.三.三一現在

| 款別 | 予算現額 | 支出済額 前期分 | 支出済額 今期分 | 支出済額 計 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | % |
| 議会費 | 17.669.153 | 8.052.071 | 9.004.003 | 17.056.074 | 96.53 |
| 総務費 | 146.471.279 | 57.008.629 | 84.720.483 | 141.729.112 | 96.76 |
| 民生費 | 36.045.334 | 16.356.786 | 17.914.698 | 34.271.484 | 95.08 |
| 衛生費 | 157.173.967 | 29.780.477 | 65.824.975 | 95.605.452 | 60.81 |
| 産業経済費 | 112.887.964 | 34.853.876 | 57.184.591 | 92.038.467 | 81.53 |
| 土木費 | 107.073.895 | 43.067.309 | 52.825.144 | 95.892.453 | 89.56 |
| 教育費 | 111.637.337 | 4.512.710 | 3.941.124 | 8.453.834 | 7.64 |
| 公債費 | 36.505.829 | 4.367.038 | 15.818.331 | 20.185.369 | 55.29 |
| 諸支出金 | 6.462.977 | 3.070.926 | 2.092.616 | 5.163.552 | 79.89 |
| 予備費 | 4.1.6.398 | 2.409.199 | 1.381.539 | 3.790.738 | 90.77 |
| 議会費 | 838.060 | 101.580 | 197.889 | 299.469 | 35.73 |
| 総務費 | 713.142 | 241.275 | 432.762 | 674.037 | 94.52 |
| 民生費 | 40.951.971 | 19.875.516 | 20.518.530 | 40.394.046 | 98.64 |
| 衛生費 | 44.102.094 | 18.520.233 | 10.136.489 | 28.656.722 | 64.92 |
| 産業経済費 | 71.913.699 | 71.915.699 | — | 71.915.699 | 100.00 |
| 土木費 | 1.123.472 | — | — | — | |
| 教育費 | 795.749.271 | 314.133.324 | 341.993.184 | 656.126.508 | 82.45 |
| 歳出合計 | | | | | |

# 生産・と生活水準あがる

## 小田原東部地域を完成

昭和三十二年度において、八幡山・山崎両地区の開墾、二ノ宮地区の開墾、ならびに、小田原東部地区の開墾が、ほぼ、その完成をみました。

八幡山地区は、昭和三十年度から、三年間、三ヶ年計画で、開墾されました。

山崎地区は、昭和三十年度から、二年間、二ヶ年計画で、開墾されました。

二ノ宮地区は、昭和三十年度から、二年間、二ヶ年計画で、開墾されました。

小田原東部地区は、昭和三十年度から、三年間、三ヶ年計画で、開墾されました。

これらの開墾地の面積は、八幡山地区が、二百ヘクタール、山崎地区が、百ヘクタール、二ノ宮地区が、百ヘクタール、小田原東部地区が、百ヘクタールで、合計、五百ヘクタールに、達しました。

これらの開墾地の、開墾の、完成は、ほぼ、ではあるが、まだ、ほぼ、であるだけで、まだ、ほぼ、であるだけで、まだ、ほぼ、であるだけで